



令和5年度 ザイル祭



令和5年度ザイル祭 4年ぶりに再開
6月11日(日) 金蓮寺弥陀堂参拝も



参加者 8人
織田、伴野、市橋、柴橋、水谷、中村、沖、村瀬
▲ コロナ禍も 漸く沈静化する中、令

和2年から中止していたザイル祭を開催した。日程や会場調整から 西尾市一色町の織田会長宅で日帰りとし、伝統行事を復活させた。神事、懇親会のあと小雨の中、吉良町饗庭の金蓮寺の国宝・「弥陀堂」参拝、白山神社を祭る100m程の裏山へ登った。帰路、「一色さかな広場」立ち寄った後解散。



和2年から中止していたザイル祭を開催した。日程や会場調整から 西尾市一色町の織田会長宅で日帰りとし、伝統行事を復活させた。神事、懇親会のあと小雨の中、吉良町饗庭の金蓮寺の国宝・「弥陀堂」参拝、白山神社を祭る100m程の裏山へ登った。帰路、「一色さかな広場」立ち寄った後解散。



国宝・金蓮寺弥陀堂

▲ 古くからの伝統ある山岳会などで行う行事。ザイルに感謝し登山の安全を祈願するため、年に一度、山小屋などを借り切って祭壇を設け、お供え物をして、会長である代表者が祝詞などを唱えたあと祝杯を挙げたりする。
——ネットから引用

北八ヶ岳・天狗岳 6月23~24日

水野し、市橋、柴橋

白駒池⇒ にゅう⇒ 黒百合ヒュッテ (泊) ⇒ 東天狗⇒ 西天狗⇒ 白駒池 の周回コース

▲ 1 日目：雨も現地に着く頃には上がり、白駒池

9：20 出発。いきなり苔むしたジブリの世界へ入り込む。初日の目的地ニユウに 11：20 到着。2,352mなるも岩山の高度感を堪能。黒百合ヒュッテに向かう途中道を間違えるも 14：00 無事到着。ここの山小屋はご飯（近隣の農家さんのお米）がとてもおいしかった。

▲ 2 日目：山小屋から東天狗へ向かう直登コースを登る。いきなりの岩登りに息が切れるも北アルプスの山々に癒される。東西天狗岳を登り下山の途につく。途中高見石小屋でなんとトランスジャパン 2022 で 10



位の林田裕介選手に遭遇。聞けば当日深夜 1 時に小淵沢駅を出発し 10 時間走り続けてきたとのこと。全く化け物としか言いようがない。休憩も早々に走り出した林田さんを尻目に 私達はのんびり休憩した後下山し、日帰り温泉で汗を流して帰宅の途に就いた。初級コースと言いながら 岩の連続に難儀したが、北八ヶ岳を楽しく歩くことができた。

岳連 読図講習会に参加して

5月28日 猿投山周辺 参加者：市橋、水野
読図講習会開催の意義と今後の課題について

▲ 今回、読図講習会に参加する契機となったのは、最近、会員による道迷いと山行中の急病（痙攣）事案が発生したからです。そして、山岳会が「安全登山第一」を旨とする以上、登山に不可欠な心身や技術の能力向上は当然のことですが、今回の参加者全員が実感した様に、読図能力が技術だけではなく、登山を純粋に楽しむために必要な要素であると考えたからです。この機会に、山岳会の在り方や存在意義について、改めて考えてみる必要があると感じ、「5—20—100 の理論」に倣って早速、中京山岳会でも読図講習会を企画することとしました。
——市橋

